

令和6年度 学校運営方針

『これからの時代をたくましく生きる』生徒を育てる
『個性（良さ）を伸ばす』教育を行う

＜生徒に育みたい資質・能力＞

- 主体的にやり抜く力 ○ 人間関係をつくる力 ○ 問題解決力
(社会に出て生きてはたらく力を身に付ける)

【教育課題】 (1) 学力の向上 → 基礎学力の定着
(2) よりよい人間関係の構築と自律 → リーダーの育成

【重点目標】 ○ 主体的に見通しをもって学ぶ生徒（知）
○ 思いやりのある生徒（徳）
○ たくましく鍛える生徒（体）

重点目標達成に向けて、グランドデザインに示された具体的な方策を全校体制で取り組む。（グランドデザインに示された成果目標で達成度を評価していく）

※ R6 グランドデザインの変更点

重点目標 確かな学力 ③指導と評価の一体化による学力の定着（追加）

豊かな心 ②リーダーの育成（追加）

③体験活動との関連を図った道徳教育の推進（修正）

健やかな体 ③保護者と一緒に考えるメディア学習会の実施(修正)

共通実践事項 支持的風土を醸成する学級経営にラポートづくり、環境整備
(追加)

＜市の重点＞『居心地のよい学級づくり』（すべての教育活動のベースとなる）

次の4つを共通実践事項として、全校体制で取り組む

- (1) 支持的風土を醸成する学級経営（人間関係づくり）
- (2) 一人一人が主役として参加する授業づくり
- (3) 特別な支援を要する生徒への適切な支援
- (4) 生徒の主体的な活動を促す

【その他留意事項】

- (1) 安全・安心の学校づくり（安心して学べる学校）
- (2) 生徒が生き生きと学校生活を送れる学校づくり（不登校を生まない学校づくり）
- (3) 働きやすい学校づくり

＜具体的な方策＞

- (1) 安全・安心の学校づくり
① 「いじめをしない、させない、見逃さない」集団づくり

② 環境整備（生徒が安心して学校生活を送れる環境づくり）

→ 環境が人をつくる

玄関、トイレ、ゴミ箱、掲示物、教室内の整理整頓（机椅子の並び、ゴミ、黒板、ロッカー、掲示物）、言葉、行動を常に確認し、きれいな環境、安心して過ごせる環境づくりに努める。

→ 生徒の心の乱れが環境の乱れに表れやすい。

（２） 生徒が生き生きと学校生活を送れる学校づくり

① 生徒が主役の授業づくり

（魅力的な教材の準備、地域教材の活用、ICT の活用、主体的な学習活動の工夫）

② 生徒会活動の活性化

・ 生徒自身で企画、運営させる場の設定

・ いじめ見逃しゼロ運動の推進

・ PTA、地域住民と連携した取組の推進（環境美化活動、あいさつ運動など）

・ 見える化、広報活動に力を入れる。（発信力の強化）

③ 生徒の主体性を発揮する行事

・ 生徒のアイデアが生かされる場の設定

④ 本物を見る機会の設定（感動体験、学習意欲の向上）

・ 博物館、地学巡検など地域資源の活用、芸術鑑賞等

（３） 働きやすい学校づくり

① 適正な部活動の推進

・ 顧問は、部活動をコーディネートする。（地域指導者、保護者との連携）

・ 休日の部活動の地域移行を踏まえて、学校部活動と社会体育で役割を分担する。

② 複数職員で生徒を担当する体制づくり（学年全体で学年生徒をみる）

③ 不登校生徒に対するオンラインの活用（家庭訪問、学習支援）